

令和6年度 明野五葉学園コンプライアンス確保のための取組

筑西市立明野五葉学園校長 入山 克巳

1 目 的

- 本校教職員の服務規律の徹底と不祥事根絶に向けた取組を推進する。
- 生徒や保護者、地域住民から「信頼される開かれた学校づくり」を推進する。

2 取 組

- (1) コンプライアンスに関する取組内容をコンプライアンス推進委員会で、随時検討する。
- (2) 校内研修の実施
 - ① 県や教育事務所からの通知や資料（「信頼される学校であるために」、「未然防止に向けた事故事例集」、教職員のための「ヒヤリハット事例集」、「服務規律確保について」等）に基づく、校内研修を実施する。
 - ② 定期的（毎月の職員会議）に、ボトムアップ型の研修を計画・実施することで、職員の意識の高揚を図る。
 - ③ 「One IBARAKI」、県西教育事務所だより、新聞記事（「事例に学ぶ」）等による具体的事例を生かした研修を実施する。
 - ④ Teams内に「コンプライアンス」のチャネルを作成し、資料や情報を随時、共有することでコンプライアンス確保の継続を図る。また、臨時的任用職員や会計年度任用職員に対しても定期的に研修を実施するとともに、コンプライアンス研修の内容や資料を管理職が確実に伝達する。

3 年間計画

月	内 容	備 考
4	・コンプライアンス推進委員会の年間計画について ・コンプライアンスチェックシートの作成	
5	・研修（10年部職員）「学校徴収金」	・第1回コンプライアンス推進委員会
6	・研修（1年部職員）「体罰・暴言」	・教員評価面談（コンプライアンスの確認）
7	・研修（2年部職員）「スピード違反、交通事故」	・交通安全教師の会
8	・研修（3年部職員）「情報漏洩」	・教員評価面談（コンプライアンスの確認）
9	・研修（4年部職員）「ハラスメント」	
10	・研修（5年部職員）「飲酒運転」	・第2回コンプライアンス推進委員会
11	・研修（6年部職員）「SNS、ネット」	
12	・研修（7年部職員）「体罰、暴言」	
1	・研修（8年部職員）「スピード違反、交通事故」	・教員評価面談（コンプライアンスの確認）
2	・研修（9年部職員）「情報漏洩」	
3	・年間の振り返りと次年度の計画（管理職）	・第3回コンプライアンス推進委員会

※研修内容については、必要に応じて変更し、喫緊の課題を選定する。

4 校内の物的・人的環境の整備

- ・日直や管理職による校内巡視を確実に実施する。
- ・違和感があれば、すぐに管理職に連絡することを徹底する。
- ・私物のスマートフォンで、児童生徒は撮影しない。
- ・トイレや更衣室など盗撮の危険がある場所の整理整頓に努める。カメラが隠せる場所をつくらない。
- ・個人情報が含まれる物は、校外へ持ち出さない。
- ・学校徴収金は複数で扱う。
- ・体罰は行わない。言葉の暴力にも注意する。

以上のような対策のもとに、教職員の服務規律の徹底を図ります。